

幼児期の強い全身症状から睡眠生活が戻った小児アトピー喘息の経過 (10 歳女兒)

症例 ID：001-10-IM4 | 記録日：2017 年 9 月 13 日

1. 診断・治療前経過

3 歳頃、母親の入院中に顔、首まわり、両腕、両足へ湿疹が広がり、顔は腫れ、首から浸出液が出る状態になりました。

ステロイドを使わないとされる医療機関で抗アレルギー薬や外用処置を受けましたが、痒みは日中にも広がり、首にガーゼを巻く生活となりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	4 か月健診頃から顔に塗り薬を使っていた時期があり、その後もステロイドを含む外用治療に関する不安がありました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	乳児期から幼児期にかけて使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使わない治療へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
3 歳 3 月頃	来院前	顔、首、両腕、両足へ症状が広がり、首から浸出液が出ました。
治療開始前	来院前ピーク	夜から朝方まで痒がり、日中も痒みでのたうち回るような状態でした。きれいな皮膚はお尻、足裏、背中に限られるほどでした。
幼稚園年少頃	治療開始	松本医院を受診し、遠方のため電話で症状を伝えながら薬を郵送してもらう治療となりました。
治療開始後	初期変化	赤く腫れ、浸出液の多かった患部は、赤みがとれ茶色のような落ち着いた色に変化しました。
小学校 1 年秋頃	経過後	お腹の赤みとかゆみが最後まで残りましたが、その頃までに落ち着いてきました。
治療後	生活変化	夜中から朝まで眠れない生活から、朝までぐっすり眠れる生活になりました。

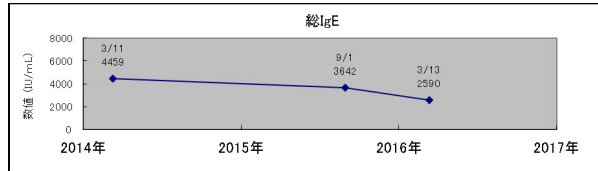
4. ピーク時期

ピークは、首から浸出液が出て、夜から朝まで眠れず、日中も強い痒みで生活が難しかった時期です。

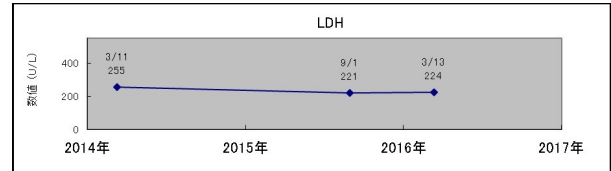
5. 困りごと

- 夜中から朝まで眠れない状態が続き、家族の生活負担が大きくなりました。
- 首にガーゼを巻き、患部の処置を続ける必要がありました。
- 長期にわたり赤みとかゆみが残り、経過をみる必要がありました。

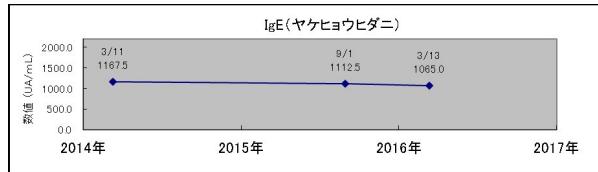
6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



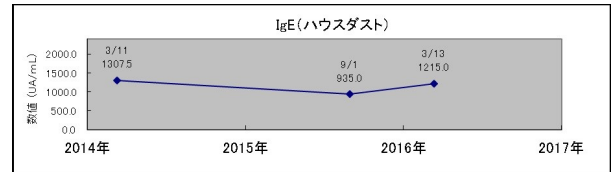
経過中の画像記録。



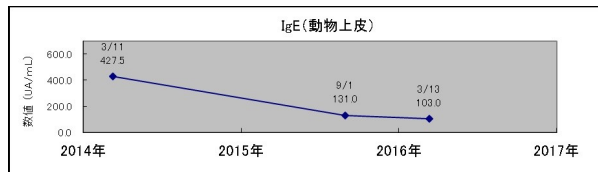
経過中の画像記録。



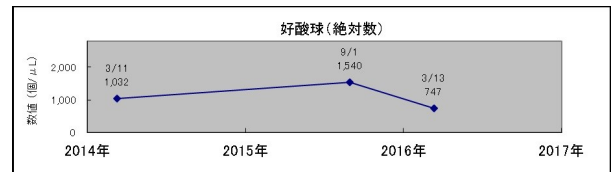
経過中の画像記録。



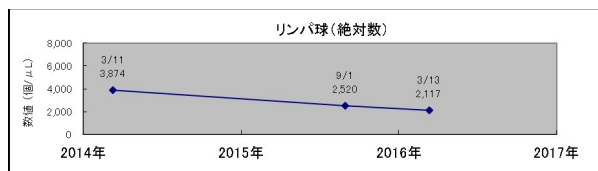
経過中の画像記録。



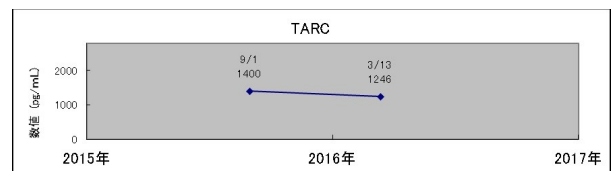
経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。

7. 経過のまとめ

3歳頃から顔、首、腕、足へ強い症状が広がり、夜間の睡眠も大きく妨げられていました。治療開始後は赤みや浸出の強さが変化し、時間をかけて皮膚状態が落ち着いていきました。

小学校1年の秋頃には夜寝ついて朝まで眠れる生活となり、日常生活に笑顔が戻りました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。